

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
基準日	毎年2月末日 その他必要あるときは、あらかじめ公告いたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。 http://www.takeuchi-mfg.co.jp/ ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告ができないときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(お問合せ先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



当社ホームページ
(<http://www.takeuchi-mfg.co.jp/>)



証券コード 6432

世界初から世界のTAKEUCHIへ

TAKEUCHI: From World First to World Leader



第51期 中間報告書

平成24年3月1日から平成24年8月31日まで

株式会社 竹内製作所

社 是

創造
Creation

豊かな感性をもって、
ニーズに応えた
商品開発をする

挑 戦
Challenge

夢と若さをもって、
より高い目標に向かって
果敢に行動する

協 調
Cooperation

和と思いやりの心をもって、
調和の取れた社会との
共生を図る

企業理念

世界初から世界の **Takeuchi** へ

- 私たちは、創造、挑戦、協調の精神で切磋琢磨し、**Takeuchi** のものづくりを追求します。
- グローバルな視野と感覚をもって、お客さまに信頼される商品とサービスを提供します。
- 一人ひとりがもつ力を活かし、地球にやさしく、豊かな社会の実現に貢献します。

経営には緊張感と健全な危機感が不可欠である。

人材とは優秀な能力とやる気の両面を兼ね備えている人を指す。

私たちはチャレンジ精神に満ち、活気ある楽しい職場づくりに努力する。

私たちは正しい企業活動を通して人々の幸福を喜びとする。

代表取締役社長 竹内 明雄

To Our Shareholders

株主の皆様へ



マーケットニーズに応じて
さらなる成長を目指すとともに、
企業体質の強化を徹底してまいります。

Takeuchi

株主の皆様へ第51期の中間報告書をお届けするに当たりまして、平素より賜っておりますご支援に対し、心から厚く御礼申し上げます。

当第2四半期累計期間（平成24年3月1日から平成24年8月31日まで）は、引き続き欧州債務問題を背景として世界経済の先行き不透明感が払拭されない中で、これまで世界景気の牽引役として期待されていた新興国の高成長も息切れの様相となり、中国経済も低迷しています。一方、米国については、堅調な個人消費の推移に加えて、懸案の住宅市場にも全般的に改善の動きが見られ、住宅投資も底堅い展開を見せています。

こうした状況下において、当社が主力とする欧米のミニショベル、油圧ショベル、クローラーローダーの市場では、当社製品に対する信頼の高さや、ディストリビューター網に支えられた地域密着型サービスの展開によって、当社製品への需要が継続している状況となっています。当社の売上高も、販売台数の増加とともに、製品価格の値上げによって、前年同期比で14%以上増加しました。

当面の課題として、米ドル、ユーロの為替相場の不透明さが挙げられますが、コストの低減を徹底することで利益の確保に努めてまいります。また、物流全般を見直し、物流費の削減を図り、業務の標準化とIT化による効率性の向上を追求してまいります。

一方で、さらなる成長を目指して、欧米市場における商品レンジの拡充、モデルチェンジ機の投入及びディーラー網の拡充による販売強化を推し進め、リチウムイオンバッテリー式ミニショベルのモニター機の商品化を図ってまいります。また、第2純正部品の拡大など、補修部品の販売を強化し利益率の向上を図ってまいります。

厳しい環境下ではございますが、株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年11月

代表取締役社長 竹内 明雄

当社グループを取り巻く市場環境

当社グループの主力市場である米国及び欧州の当第2四半期連結累計期間（平成24年3月1日から平成24年8月31日まで）の経済は、米国におきましては、堅調な住宅投資により住宅市場は全般的に改善の動きが継続し、個人消費も回復傾向にあったことから、景気は総じて底堅く推移いたしました。欧州におきましては、ドイツのように内需の安定と好調な輸出を背景に比較的堅調な景気を維持している国と、南欧諸国のように欧州債務問題により設備投資や個人消費が落ち込み景気の低迷が継続している国々で、域内経済格差が拡大する状況となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績

このような環境の中で、当社グループの米国及び欧州での当第2四半期連結累計期間のミニショベル及び油圧ショベルの販売台数は、需要が増加したことで販売強化に取り組んだことにより、前年同期と比較して増加しました。しかし、欧州債務問題の長期化や今まで世界経済を牽引していた中国経済の減速をふまえますと、今後の建設機械需要と為替水準は先行き不透明な状況です。これらの状況に対処するため、当社グループは、中国等からの海外部品調達を積極的に行なうことにより、原価低減と為替リスクの軽減を推し進めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は販売台数が増加したことにより、235億3百万円（前年同期比14.3%増加）になりました。

利益面につきましては、販売台数の増加、製品の値上及び原価低減により、営業利益は12億8千4百万円（前年同

期比219.0%増加）となりました。また、経常利益は12億2千3百万円（前年同期は、1億8千7百万円の経常損失）、四半期純利益は、10億4千2百万円（前年同期は、4億7千万円の四半期純損失）となりました。

通期の見通し

米国経済は緩やかな回復を持続すると考えられ、建設機械の需要は増加すると予想していますが、欧州では、債務問題の長期化により財政支出の削減、銀行の金融機能低下など景気を下押しする展開が予想されます。こうした中で、建設機械の販売台数は、当第2四半期連結累計期間は米国及び欧州向けが増加しましたが、第3四半期以降は債務問題の影響を受ける欧州向け及び経済が減速している中国向けが伸び悩む見通しから、売上高は期初予想通りの404億円（前期比0.3%増加）になる見通しです。

利益の面では、第3四半期以降の外国為替レートを第2四半期連結累計期間よりも円高に予想しながらも、継続的なコスト削減と収益性の追求などに努め、営業利益は13億9千万円（前期比2.8%増加）、経常利益は13億7千万円（前期比49.5%増加）、当期純利益は10億5千万円（前期比138.6%増加）になる見通しです。なお、第3四半期以降の外国為替レートは、1米ドル=78円、1英ポンド=124円、1ユーロ=98円、1人民元=12.3円を前提としています。

また、株主の皆様への利益還元につきましては、前期、業績の回復により復配を実現することができ、1株当たり5円の配当を実施させていただきましたが、当期も期末配当として、1株当たり5円の配当を実施させていただく予定です。

貸借対照表

（単位：百万円）

区 分	当第 2 四半期 平成24年 8月31日現在	前 期 平成24年 2月29日現在
【資産の部】		
流動資産	41,338	39,110
固定資産	7,464	7,522
有形固定資産	6,639	6,699
無形固定資産	327	316
投資その他の資産	497	506
資産合計	48,802	46,633
【負債の部】		
流動負債	20,703	19,684
固定負債	565	508
負債合計	21,269	20,192
【純資産の部】		
株主資本	30,514	29,554
資本金	3,632	3,632
資本剰余金	3,631	3,631
利益剰余金	23,253	22,292
自己株式	△3	△3
その他の包括利益累計額	△2,980	△3,113
その他有価証券評価差額金	△22	△12
為替換算調整勘定	△2,958	△3,101
純資産合計	27,533	26,440
負債純資産合計	48,802	46,633

損益計算書

（単位：百万円）

区 分	当第 2 四半期累計 自 平成24年 3月 1 日 至 平成24年 8月31日	前第 2 四半期累計 自 平成23年 3月 1 日 至 平成23年 8月31日
売上高	23,503	20,561
売上原価	19,715	17,831
売上総利益	3,787	2,729
販売費及び一般管理費	2,503	2,327
営業利益	1,284	402
営業外収益	136	67
営業外費用	197	657
経常利益又は経常損失（△）	1,223	△187
特別利益	5	5
特別損失	0	33
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	1,228	△216
法人税、住民税及び事業税	215	232
法人税等調整額	△28	21
四半期純利益又は四半期純損失（△）	1,042	△470

キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

区 分	当第 2 四半期累計 自 平成24年 3月 1 日 至 平成24年 8月31日	前第 2 四半期累計 自 平成23年 3月 1 日 至 平成23年 8月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△544	△1,262
投資活動によるキャッシュ・フロー	△166	△47
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,033	2,291
現金及び現金同等物に係る換算差額	60	△192
現金及び現金同等物の増加額（△減少額）	△1,684	788
現金及び現金同等物の期首残高	6,657	8,717
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,973	9,506

フランス最大の国際土木建設機械見本市「INTERMAT」に出展

2012年4月16日から21日の6日間、フランスのパリ北部近郊（ビルパント）で開催された「インターマット国際土木建設機械見本市」に当社は数多くの製品を出展し、連日大変な盛況ぶりでした。特に、世界で初めて開発したリチウムイオン・バッテリーを搭載した全電気駆動式のミニショベル「TB117E」は、排気ガスが全く出ないので、室内で稼動ができるため、会場内でのデモンストレーションでは多くの観客の注目の的となりました。「INTERMAT」は「BAUMA」（ドイツ）や「CONEXPO」（アメリカ）と並び、世界3大建設機械見本市のひとつで、3年に一度開催されるフランス建設機械業界最大のイベントです。



TB117e
Battery-Powered Excavator

Stock Information 株式の状況（平成24年8月31日現在）

発行可能株式総数	46,000,000株	単元株式数	100株
発行済株式の総数	16,333,000株	株主数	9,057名

Corporate Data 会社概要（平成24年8月31日現在）

商号	株式会社竹内製作所	● 役員の状況	
（英文社名）	TAKEUCHI MFG. CO., LTD.	代表取締役社長	竹内 明雄
本店所在地	〒389-0601 長野県埴科郡坂城町大字坂城9347番地 （同所は登記上の本店所在地で、実際の業務は下記で行っております。）	取締役副社長	竹内 敏也
本社	〒389-0605 長野県埴科郡坂城町上平205番地	取締役副社長	依田 信彦
代表者	代表取締役社長 竹内 明雄	取締役	真壁 幸雄
設立年月日	昭和38年8月21日	取締役	神山 輝夫
資本金	3,632百万円	取締役	宮崎 義久
事業内容	建設機械及び攪拌機等の開発、製造及び販売	取締役	衛藤 大輔
従業員数	699名（連結）	常勤監査役	宮入 健誠
		監査役	草間 稔
		監査役	森田 弘毅
		監査役	植木 芳茂
		（注）常勤監査役草間稔、監査役森田弘毅及び植木芳茂は、社外監査役であります。	

● 主要な工場及び営業所

工場	営業所
村上工場	東京営業所
戸倉工場	大阪営業所
千曲工場	名古屋営業所
長野県埴科郡	東京都港区
長野県千曲市	大阪市中央区
長野県埴科郡	名古屋市中川区

● ネットワーク

日本	株式会社 竹内製作所
米国（販売子会社）	TAKEUCHI MFG. (U.S.), LTD
英国（販売子会社）	TAKEUCHI MFG. (U.K.) LTD.
フランス（販売子会社）	TAKEUCHI FRANCE S.A.S.
中国（生産・販売子会社）	竹内工程機械（青島）有限公司

※上記以外の地域における販売は、各国のディストリビューター（当社とディストリビューターシップ契約を締結した販売店）を通じて販売を行っております。